

高齢者見守りのための生活支援対話システムの研究開発

研究機関：奈良先端科学技術大学院大学

研究代表者：中村 哲

共同研究機関：なし



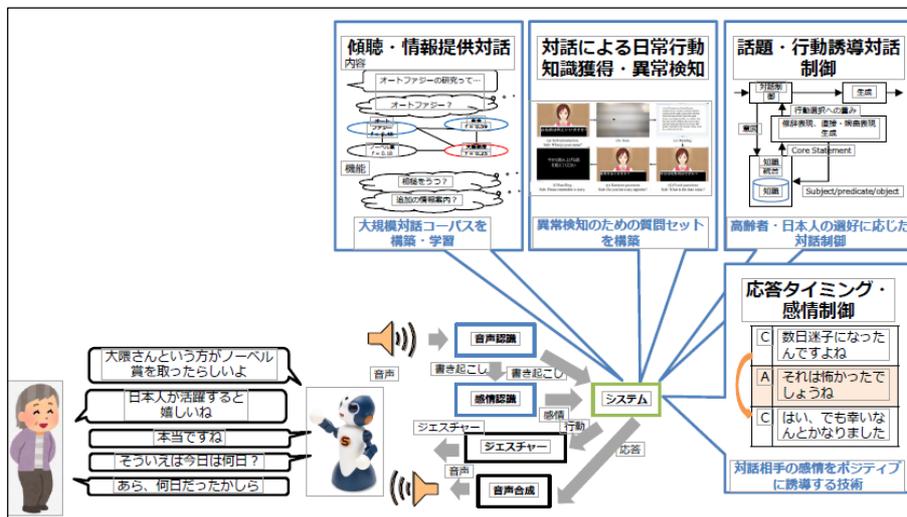
研究の背景

コンピュータによる音声対話システムは、あらかじめ定義されたタスクの範囲内で効率的にタスクを行うことや、答えのある質問に答えることはできるものの、日常的に高齢者と話す際に行うような雑談、対話を通じた情報案内、情報抽出・獲得に関してはまだ研究途上です。これに対して、タスクの達成とは異なるユーザへの情報案内や聞き役対話を目的とした非タスク指向の対話システムが研究されており、目的指向対話との併用により全体のシステムの自然性の向上に役立っています。

委託業務の結果、得られた研究成果の概要

近年、高齢者が増加し孤独が心身に与える影響が社会問題となっています。本研究では、コンピュータにより対話を行いながら日常生活を見守ることで、高齢者の生活を支援および異常検知を行う技術を開発することを目指しました。具体的には基盤となる対話システム構築のための基礎的技術の研究開発と、実際の高齢者との対話を行うフィジビリティスタディを行いました。その結果、個々の基礎的技術の研究開発においては国際的に著名な難関会議に採択されるなどの顕著な成果を挙げました。

また、フィジビリティスタディにおいて被験者から一定の評価を得て、実応用に向けた今後の課題を具体的に示すことができました。



現状と今後の展開等

研究成果の活用に向け、高齢者対話コーパス（言葉のデータベース）を用いた研究を継続しています。これまでにデータを用いた研究開発を行う企業などにいくつか提供実績があります。

研究代表者

研究機関名	奈良先端科学技術大学院大学		
担当者	中村 哲	所属・役職	情報科学研究 教授